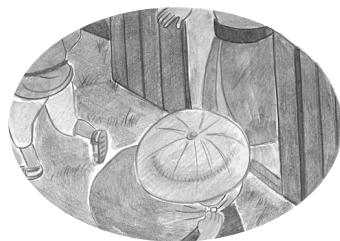




おんせい  
音声はこちら

かど 門を出れば われ ゆ ひと あき  
門を出れば 我も行く人 秋のくれ



よ さ ぶ そん  
与謝蕪村

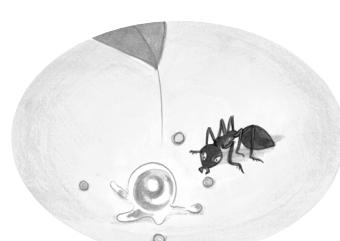
さび 淋しさに めし 飯を食うなり



あき 秋の風

こ ばやしいっ さ  
小林一茶

つゆ 露の玉 たりたじたじと なりにけり



かわ ばた ぼう しゃ  
川端茅舎

す 澄む月や ひげ 髭をたてたる きりぎりす



たから い き かく  
宝井其角



音声はこちら

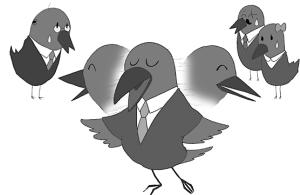
せいこう う どく  
**晴耕雨読**

てんこう じゅうき せいかつ  
天候にしたがう、自由気ままな生活。



はっぽう び じん  
**八方美人**

だれにでもよくおもふまひと  
だれにでもよく思われるようふる舞う人。



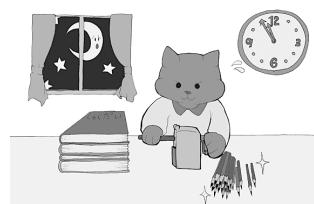
ふ げん じっ こう  
**不言実行**

あれこれいわずにだまってじっこう  
あれこれ言わずにだまって実行すること。



ほんまつてんとう  
**本末転倒**

たいせつ はんたい  
大切なこととささいなことが反対になる。





おんせい  
音声はこちら

## 《裁判所のうた》

法律を守る 司法権

法律に あっているか 違っているか

決定する権限を 持っている

他の権力に 干渉されません

トップの裁判所は 最高裁判所

その下に

高等 (裁判所) 地方 (裁判所) 家庭 (裁判所) 簡易裁判所

三審制は 上訴により 三回まで 裁判を受けることができる制度

最初の判決に 納得できなければ 控訴する

次の判決に 納得できなければ 上告する

最後の判決 最高裁判所

民事裁判 個人や企業の 争いごとに 判決くださす

刑事裁判 刑事事件で 有罪 無罪 判決くださす

裁判員制度は 国民が裁判に 参加する





おんせい  
音声はこちら

そな うれ  
備えあれば憂いなし

まえ じゅんび まんいち ば あい こま  
前もって準備しておけば万一の場合に困ること  
は無い。



ところか しなか  
所変われば品変わる

とち ふうぞく しゅうかん げんご ちがう。  
その土地によって風俗、習慣、言語はみな違う。



もち もちや  
餅は餅屋

ものごと みち せんもんか まか いちばんよ  
物事はその道の専門家に任せるのが一番良いと  
いう事。



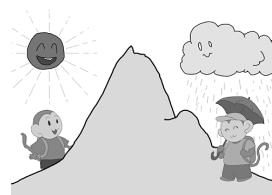
あさ かわ ふか わた  
浅い川も深く渡れ

ちい こと ゆだん  
小さな事にも油断してはならない。



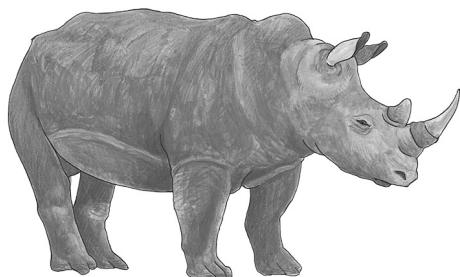
うま せ わ  
馬の背を分ける

ちいきてき あめ ゆき ふようす こと  
地域的に雨や雪の降る様子が異なる事。

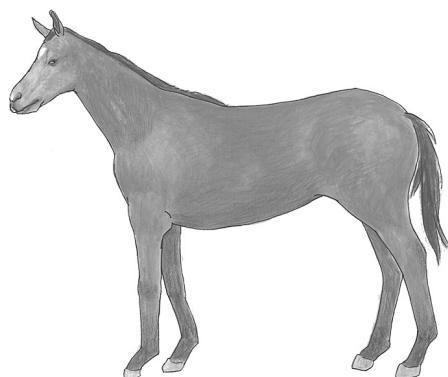




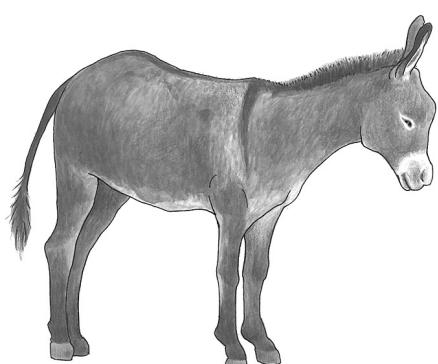
おんせい  
音声はこちら



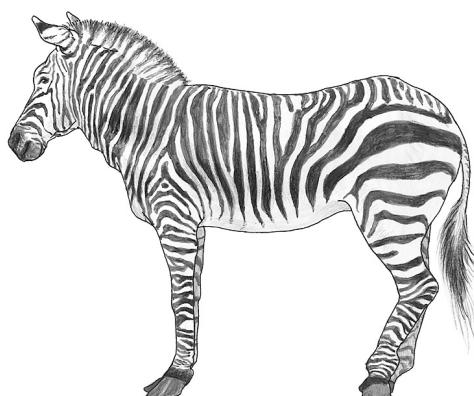
サイ



ウマ



ロバ



シマウマ



おんせい  
音声はこちら

忍しの  
色いろ  
にれ  
物もの  
出いど  
やで  
思おも  
ふうけ  
とり

人ひと  
のが  
問と  
恋こい  
ふうは  
ままで

(平たいらのかね  
兼もり  
盛もり)

浅あさ  
茅じ  
小お野の生う  
のの  
の篠原しのはら  
あまりてなどか  
忍ぶれど  
人の恋しき

(参さん議ぎ等ひとし)

